

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

つくば市 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	筑波研究学園都市50周年記念で誕生したイメージキャラクターの「フクン船長」は、つくば市のキャラクター「ツクツク」が開発した宇宙飛行士型ふくろうロボットで、市の象徴「自然(フクロウ)」と「科学(ロボット・宇宙飛行士)」をモチーフとしています。	4
2	ホシザキユキノシタはユキノシタ科ユキノシタ属の植物です。多年生植物で、ユキノシタの変種または品種とされています。筑波山で発見され、筑波山のみで生育する固有種です。このためつくば市の花に選ばれ、同市の天然記念物となっています。	1
3	つくば市の鳥に制定されている鳥は、「フクロウ」です。フクロウは、農村・人里環境を代表する鳥で森の哲学者ともいわれています。知恵と技術の象徴であり、学園都市を擁(よう)するつくば市にふさわしい鳥です。	3
4	つくば市の木に制定されている木は、「ケヤキ」です。ケヤキは、市内の随所で見られ、広く市民に親しまれている木です。大きくて力強く、無限の発展を秘めている、つくば市にふさわしい木です。	4
5	2019年に行われる、第74回国民体育大会は、45年ぶりの茨城県開催となります。つくば市内では、アーチェリー競技と自転車(ロード・レース)競技の実施が予定されています。	2
6	筑波北条米は豊かな風土に恵まれ、関東きっての良質米産地として昭和初期には食味極上として皇室への献上米にもなりました。テレビなどで厳選素材としてたびたび全国で紹介されるなど、筑波が誇る日本の名産品として知られるようになりました。	1
7	縄文時代は、木の実などの植物食が食生活の中心といわれています。つくば市の下広岡遺跡では、「縄文クッキー」と呼ばれるドングリ等の木の実をすりつぶして作ったものが見つかっています。	2
8	直径2～3センチの小さなみかんで、「福が来る」という縁起の良い福来(ふくれ)みかんは味が濃く、酸味が強いのが特徴です。	2
9	茨城県は全国一の芝の産地です。その80パーセントの生産面積をつくば市が占めます。	3
10	市章の色の1つであるライトグリーンは、「輝かしい新緑と自然」を表しています。市章は、2つの「つ」を組み合わせ図案化したもので、無限の発展とゆるぎない調和を表しています。	1
11	つくば市民の日は、1987年(昭和62年)、11月30日の「つくば市誕生」を記念して定めています。市民の日に合わせて市の施設の無料開放などを行っています。	4
12	つくば市の物産の中でも特に優れた物産品として市が認定した製品「つくばコレクション」は、販売促進を通して地域経済の活性化や市のイメージアップにつなげることを目的としています。平成30年6月現在、26品目が認定されています。	2
13	現在のつくば市役所がある研究学園駅周辺はかつて日本自動車研究所の敷地だったところで、研究所では自動車や道路交通に関する研究、試験を行っていました。1周5.5キロメートルの高速テストコースの他に衝突実験場や模擬市街路などがありました。	3
14	北畠親房(きたばたけ ちかふさ)は鎌倉時代後期から南北朝時代の公家です。南北朝時代には、南朝側として、小田城で『神皇正統記』【じんのうしゅうとうき:幼い帝(みかど)後村上天皇のために、吉野朝廷(いわゆる南朝)の正統性を述べた歴史書】を執筆しました。	2
15	筑波山神社拝殿の近くにある日枝神社拝殿に、3匹の猿が両手でそれぞれ目、耳、口を隠している「見ざる、聞かざる、言わざる」という叡智の三つの秘密を示している像があります。日光東照宮が有名ですが、建立時期は江戸時代初期、東照宮のものより数百年古いといわれています。	1
16	ジオパークは、Geo=地球・大地、Park=公園を組み合わせた言葉で“大地の公園”とも言い、地質遺産を見どころとした自然公園です。筑波山地域を構成する石岡市・笠間市・つくば市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市は「みんなに愛される地域づくり」を目指し、ジオパーク事業を進めています。	4
17	つくば市の面積は約284平方キロメートルで県内第4位です。1位は約372平方キロメートルの常陸太田市で、2位は約348平方キロメートルの常陸大宮市。3位は約325平方キロメートルの犬伏町となっています。	4
18	茨城県青果物銘柄産地は消費者に「喜んで食べてもらえるモノづくり」に転換した産地の取組みを評価する制度で、つくば市では2005年(平成17年)11月30日開催の銘柄産地評価委員会の審査に基づき、銘柄産地につくば市のねぎが指定されました。	2
19	平沢官衙遺跡(ひらさわかんがいせき)は、奈良・平安時代に造営された常陸国筑波郡の郡役所跡です。国指定の史跡となっています。	3
20	筑波山は「西の富士、東の筑波」と並び称され、その優美な姿は古くから多くの人々に愛され、信仰されてきました。「万葉集」には筑波山を詠んだ歌が25首あり、筑波山神社周辺をはじめ、筑波山エリアに全25首の筑波山万葉歌碑が建立されています。	1
21	一ノ矢八坂神社の御祭神は、素戔鳴尊(すさのおのみこと)ですが年頭天皇(ごずてんのう)とも呼ばれ、日本では京都の祇園社(ぎおんしゃ)(八坂神社)に除疫神(じょえきしん)として祀られたのが初めてでした。神社の創建は、平安時代の前期で今から1100有余年前の清和天皇貞観年間とされています。以来今日まで、この神社のお祭りは、祇園祭(にんにく祭)として五穀豊穡・無病息災等の祈願として執り行われてきました。	4
22	つくば市内には、つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅の4つの駅があります。市内の沿線地域では萱丸地区、島名・福田坪地区、上河原崎・中西地区、葛城地区、中根・金田台地区の5地区の合計約1,400ヘクタールでまちづくりが進められています。	2
23	学園東大通は、総延長17.1キロメートルで、「研究学園都市東側を貫く道路」から名付けられました。1987年(昭和62年)に大角豆交差点～東前野の15.8キロメートルは、日本の道百選に選ばれ、つくば市吾妻に記念碑があります。	3
24	松見公園は、日本庭園の美しさを味わえる回遊式の園となっていて、ゆっくりくつろげる芝生広場や展望塔の他にも滝や鯉の群れなす池もあり、春には桜を愛でる方々にぎわいます。	4
25	平成29年市議会9月定例会で、加藤澤男氏(体操競技でオリンピック3大会出場し日本人最多の金メダル8個を獲得)がつくば市名誉市民として承認され、つくば市名誉市民は、江崎玲於奈氏(ノーベル物理学賞受賞)、小林誠氏(ノーベル物理学賞受賞)に続き3人目となりました。	3